

令和2年度第1回花巻市総合計画審議会（会議録）

1 開催日時

令和2年9月25日（金）
午後2時～午後4時30分

2 会場

花巻市大通り1丁目2-21
定住交流センター（なはんプラザ） 1階 COMZホール

3 出席者

■委員出席者：18名

高橋利光委員（花巻農業協同組合代表理事専務）、高橋照幸委員（社会福祉法人花巻市社会福祉協議会会長）、浅沼由美子委員（花巻市地域婦人団体協議会副会長）、藤沼弘文委員（花巻工業クラブ会長）、佐々木博委員（一般社団法人花巻観光協会会長）、高橋英明委員（花巻市PTA連合会会長）、富澤正一委員（花巻市区長会会長）、藤田甲之助委員（公益社団法人花巻青年会議所理事長）、伊藤清子委員（花巻市食生活改善推進委員協議会会長）、似内利正委員（一般社団法人花巻市体育協会会長）、中島健次委員（花巻市芸術協会会長）、瀬川行夫委員（花巻市大迫地域協議会会長）、菅原康之委員（花巻市石鳥谷地域協議会会長）、松葉孝博委員（花巻市東和地域協議会会長）、岩淵満智子委員（花巻市自治推進委員会会長）、中村良則委員（学校法人富士大学副学長）、漆沢俊明委員（花巻信用金庫理事長）、村上純委員（連合岩手花巻北上地域協議会事務局長）

■代理出席者：1名

佐々木史昭氏（花巻商工会議所副会頭）
※高橋豊委員（花巻商工会議所会頭）の代理出席

■委員欠席者：1名

三浦良雄委員（一般社団法人花巻市医師会会長）

■市側出席者：16名

上田東一（市長）、久保田留美子（総合政策部長）、菅野圭（地域振興部長）、松田英基（財務部長）、菅原浩孝（農林部長）、志賀信浩（商工観光部長）、布臺一郎（市民生活部長）、遠藤雅司（建設部長）、佐々木賢二（建設部次長）、高橋靖（健康福祉部長）、市川清志（生涯学習部長）、清水正浩（大迫総合支所長）、八重樫和彦（石鳥谷総合支所長）、小原一美（東和総合支所長）、笹間利美（消防長）岩間裕子（教育部長）

■事務局：4名

総合政策部秘書政策課（富澤課長、赤坂課長補佐、瀬川企画調整係長、小田島企画調整係主査）

4 委嘱状交付

開会に先立ち、上田市長より新たに委員となる6名に委嘱状を交付。

5 会議内容

(1) 開会

本日の審議会は委員20名中19名出席につき、花巻市総合計画審議会条例第4条第2項の規定に基づき、過半数の出席により本審議会が成立することを事務局より報告。

(2) 市長挨拶

【上田市長】お忙しい中、お集まりいただいたことに感謝申し上げます。第3期中期プランは、昨年度中に策定し令和2年度当初よりスタートする予定で作業を進めていたが、施策を取り巻く現状や課題が複雑化、多様化しており、各政策や施策の目指す姿を実現するための主要事業について再検討、再精査を行ったこと等から予定していた策定期間から遅れてしまったことお詫び申し上げます。

この第3期中期プラン（案）は庁内の各担当部署から具体的な事業を挙げてもらい、市内の関係機関、団体から意見をお聞きしながら策定を進めてきた。また市民の皆様へのパブリックコメントの実施や花巻市自治推進委員会、各地域協議会からもご意見を頂戴しながら現在の案となったわけだが、例えば新たな図書館の建設や花巻駅の橋上化、産業団地の整備等、いつの段階でどの程度費用が発生するか分からない事業については掲載していない。こういった事業については、今後固まり次第、毎年行う見直し、ローリングの中で掲載しご承認いただいたうえで事業を実施していくこととしたい。

また、第3期中期プランの中に花巻市の今後の財政計画を掲載させていただいた。花巻市は財政的に厳しい状況にあり、予算ベースで市税収入は113億円ほど、地方交付税が130億円ほどを見込んでいる。合併特例債、過疎債、辺地債といった有利な地方債を活用しながら市の財政を支えている状況にある。限られた財源をいかに効率よく使っていくかということを考えなければならないし、市民の皆様にも今後の財政計画を知っていただき、一緒になって花巻市のまちづくりについて考えていただきたい。

第3期中期プランは今後の花巻市を考えるうえで非常に重要なものであり、委員の皆様には大変な重責を担っていただくこととなるが、よりよい中期プランを策定したいと考えているので、忌憚のないご意見をよろしくお願ひしたい。

(3) 諮問

花巻市まちづくり総合計画第3期中期プランの策定についての諮問書を、上田市長から中村会長へ手交。

(4) 議事

【中村良則会長】議事を進めさせていただきます。花巻市まちづくり総合計画第3期中期

プランの策定についで、担当課より説明願います。

- 久保田総合政策部長から、資料 No.1「花巻市まちづくり総合計画第3期中期プランの策定について」、資料 No.2「花巻市まちづくり総合計画第2期中期プランの実施状況について」、資料 No.3「地域協議会・地域自治推進委員会からの意見等一覧」に基づき、第3期中期プラン（案）の概要、策定に当たっての基本的な考え方等について説明。
- 富澤総合政策部秘書政策課長から、資料 No.4「花巻市まちづくり総合計画第3期中期プラン（案）」に基づき、第3期中期プラン（案）に掲載されている施策の現状や課題、施策の方向を把握した経緯等について説明。
- 松田財務部長から、参考資料「第3期中期プラン財政見直し」に基づき、決算ベースにより試算した第3期中期プラン（案）の計画期間中の財政見直し等について説明。

【中村良則会長】ただいまの説明についで、質疑を行います。説明にもありましたとおり、大きな方向性、具体的には、施策の現状、課題、施策の方向の捉え方に不足する点がないかといった視点で、審議することとなります。ご質問のある方は挙手をお願いします。

【藤沼弘文委員】まちづくりに関して、家もまちも50年しかもたないといわれており、50年が経過すると流れが変わってしまう。43ページ（施策1-3-2「商店街の再生」）にまちなかの活性化について記載があるが、民間の力の活用が必要であり、民間を支援することが市の役割。重要な手法の一つが空家対策であるが、空家を壊して更地にすると固定資産税の負担が増えることが活性化を阻む要因となっており、そういったことに対して市の支援が必要。
まちを牽引する産業の振興などにあっても、支援すべきところに支援するメリハリが必要。住みやすさのためにはしごとの場と子育て環境の充実が必要であり、市で何をすべきか見直す時期に来ていると感じる。

【中村良則会長】まちづくりを進めるに当たり、重点的に取り組むポイントをはっきりとさせて、民間の力を支援することが重要ということ。

（久保田総合政策部長）まちづくりに関しては様々な考え方があると思うが、総合計画はまちづくりの根幹であることから、重要なご意見として承る。

第3期中期プラン策定に当たり、これまでの計画を継承するだけでなく、関係機関・団体等との協議等を経て、視点を変えて、新たな課題を明らかにしてきた。また、民間の力の活用については、施策ごとに明文化しているわけではないが、協働、自助・共助・公助等の考え方とともに、どこに軸を置いて施策を進めていくかが重要と認識しており、ご相談・ご説明しながら事業を進めたい。

【藤沼弘文委員】まちづくりは、民間が投資しようと思う方向に行政が誘導しなければならない。費用対効果が低い部分を請け負うのが行政の役割。

【中村良則会長】藤沼委員のご意見は、3ページの「重点戦略」の②市街地の再生、③交流人口の拡大などに該当するものと思われる。現段階で取り組むべき課題について、この第3期中期プランでは、「しごと」、「暮らし」、「人づくり」、

「地域づくり」、「行政経営」の5分野に沿って対応するものであるため、どうしても総花的になってしまうが、今後、施策を推進する中で重点的に取り組むものが具体化すれば追加していくもの。市では、重要な意見として受け止めていただきたい。

【佐々木博委員】45 ページ（政策1-4「観光の振興」）の「政策の方針」の「観光客が目的地にスムーズに移動できるように環境整備を進める」について、以前は市内の各記念館を周遊する交通手段があったが、今は廃便や減便によりスムーズな移動が困難となっていることから、デマンド交通を観光客にも活用することを提案する。46 ページの滞在型プランや広域周遊プランの提案についても、観光客のスムーズな移動を前提として実現するものである。

観光客の増加につなげるために、観光客のニーズに合った提案ができるよう、観光マーケティングの強化が必要であり、そのためにDMO（観光地域づくり法人）の活用が必要と考える。先進地視察に有馬温泉を訪れたが、斬新な取組をされていた。

（久保田総合政策部長）DMOとの連携については今回の第3期中期プラン（案）にも記載しており、今後、具体的に事業を進める中で民間のアイデア、先進地の情報等を参考にしていきたいので、ご指導をお願いしたい。

（志賀商工観光部長）現在、市内の周遊のため「どんぐりとやまねこ号」を運行しているが、観光客がより楽しく市内を観光できるよう、ルートの再設定等について観光協会等の関係団体と協議しながら進めたい。また、DMOに関しては、観光協会だけでなく地域との連携も重要となるため、ご協力をいただきたい。

【漆沢俊明委員】第3期中期プラン（案）の全体的な内容は良いと思うが、いくつか意見として申し上げる。

42 ページ（施策1-3-1「商業形態の多様化」）については、地元の方の買い物のしやすさが主となっているが、花巻市は観光都市であるため、市外からの来訪者の買い物も意識して施策を推進すべきではないか。また、成果指標「市内での買い物に満足している市民の割合」については、人口の定着に影響する内容であるため、60%の維持ではなく増加を目指してほしい。

51 ページ（施策1-4-3「移動しやすい観光地」）に記載のとおり、二次交通が重要だと思う。いわて花巻空港や新花巻駅から市内へのアクセスがわかりにくいという声を多く聞く。官民一体となって進めるべき内容であるため、「課題」に記載すべきと考える。

107 ページ（施策2-4-2「防犯活動の推進」）について、窃盗・盗難の防止などに特化しているが、特殊詐欺が増加している状況であり、その改善のための方策を記載する必要があるのではないかと。

125 ページ（施策2-6-3「地域医療の充実」）について、花巻市では産科医・小児科医が少ない状況であるが、最初からいないという前提ではなく、

花巻市出身の産科医・小児科医を招聘するような努力が必要と感じる。また、「人づくり」分野の中で産科医・小児科医を養成する方策も考えられる。

114 ページ（施策 2-5-2 「高齢者福祉の充実」）について、高齢者の介護の内容が主となっているが、ひとり暮らし高齢者が増加しており、今後、認知症となった場合を考えると、財産保護の面が不足しているのではないかと懸念される。花巻信用金庫では成年後見サポートを実施しているが、2025 年以降、団塊の世代が 75 歳以上となって急激に認知症の方が増え、財産管理の問題が出てくること懸念される。成年後見や、委任契約等で生前に必要なことを決めておくことにより、高齢者本人が安心して暮らしていけるようにすることが重要。社会福祉協議会に任せるだけでなく、市でも関わっていただきたいと考える。

（志賀商工観光部長）施策 1-3-1 「商業形態の多様化」については、ご指摘のとおり、商店街等への支援を通じた魅力あるまちづくの中で、来訪者を意識した取組が重要と考えている。成果指標の目標値については、現状として増加は困難であり、維持についても高い目標と考え決定したところ。

施策 1-4-3 「移動しやすい観光地」の二次交通については、昨年観光協会モデル事業を実施し、観光客にとって魅力的なルートを検証した。新花巻駅から市内へのアクセスについては、コロナ対策の事業として、観光協会とタクシー協会との協議により、新花巻駅から温泉へのゾーン料金によるタクシー運行を検討しているところ。観光客が一定金額で安心してタクシー移動できるよう、また、タクシー業界で採算が取れて独立して実施していけるようになればよいと考えている。このように、いろいろな取組を試しながら、今後、主要事業に入れていければよいと考えている。

（布臺市民生活部長）施策 2-4-2 「防犯活動の推進」について、特殊詐欺の件数や被害金額については、昨年度の時点では減少傾向であったが、ご指摘のとおり今年に入ってから増加に転じた。この施策は主に窃盗被害の防止であり、特殊詐欺への対応については、105 ページ施策 2-4-1 「生活相談の充実」において、花巻警察署の生活安全課と連携しながら取り組んでいる。

（高橋健康福祉部長）施策 2-6-3 「地域医療の充実」について、本年 3 月で市内の産婦人科の一つが産科を終了した。また、県立中部病院においても産科医が減る等の報道があり、ご心配をおかけした。産科医や小児科医が全国的に不足している状況から、市としても養成が重要と考え、例えば医学部内に不足している産科医専門の養成コースを設けることなどを関係省庁に提言している。

産科の維持のためには、産科医を一人、二人招聘するだけでは難しく、今できることとして、産科の体制をサポートする助産師について、市では昨年度から助産師の確保のための事業を実施している。さらに、産科の不足により遠方の医療機関を受診する方に交通費を支援することで、妊産婦の負担を軽減する取組を実施している。

権利擁護の対象は高齢者が多いが、高齢者だけではないため、112 ページ

の施策2-5-1「地域福祉の推進」において、施策の方向(3)「要支援者への支援」のなかで権利擁護制度の推進を掲げ、広く取り組むこととしている。花巻信用金庫と社会福祉協議会において法人後見制度の取組を実施していただいているところであるが、市としても、弁護士や司法書士等の関係者と権利擁護の推進に関する協議を継続しているところ。

【漆沢俊明委員】「しごと」分野の各施策においては、市単独ではなく民間との連携が必須だと思う。一方で、成年後見制度については、市町村長の申し立てにより解決できることがあるため、是非、市で関わっていただきたい。

(高橋健康福祉部長) 市長の成年後見の申し立てについては、親族等による申し立てが期待できない場合に可能となるものであり、そうした親族が本当にいないのかを厳格に確認した上で実施している状況。もう少し柔軟に対応できるかどうか制度の研究も必要と考えている。市としては、市長申し立てを含めた成年後見制度を始めとする権利擁護について、引き続き取り組みを進めたいと考えている。

【佐々木史昭氏(高橋豊委員の代理)】36ページ政策1-2「工業の振興」において、新しい分野への進出や「種を育てる」ことなどが主となっているが、地域の企業を有力な企業に育てるという視点も持っていただきたい。地元の有能な人材が地元の企業に就職しようという意識を持っていない、大学を出た若者が地元には良い企業がないと考え、戻ってこない現状を変えていかなければならず、市にはその部分を一緒に考えていただきたい。小中高校生が地元の経営者に接する機会、地元企業を知る経験がないことが一つの要因であると考ええる。また、東北地方の企業と比較して、新潟県では地域風土の差もあり、同業の中でも給料が高く、有能な人材が集まり、企業力が高くなる。県内、花巻市においては、そういった面で良い企業が育っていかない悪循環となっている状況であると思う。地元の企業に市の工事を発注したり、産業振興の面でも地元の企業をサポートしたりしないと良い企業が育たない。

国際交流協会の一員としての経験では、ホットスプリングス市との交流に参加した生徒など、学生時代に地域と深い関わりを持ってきた人材は地元に戻ってくるケースが多い。

広報はなまきは全世帯配布であり、広い世代に対し発信力があるため、地元企業を知る媒体として活用することを提案する。広報はなまきに国際交流協会の職員募集を掲載した際に反応が良かった。

(志賀商工観光部長) 61ページの政策1-6「雇用環境の充実」において、企業と学生とのマッチングを引き続き実施していく。コロナ禍にあって今年度は地元企業の情報・魅力をオンラインで発信する取組を実施することとしており、こうした取組を地道に続けて学生の志向をとらえながら、地元への定着に向けて取り組む。

(久保田総合政策部長) 現在、市では人口動態の分析を進めているが、特に大学進学で転出した後、若い女性が戻ってこないことについて分析が必要と感じている。その中で広報はなまきの効果的な活用方法があれば、アイデアをいただき

ながら最大限に活用していきたい。

【岩渕満智子委員】花巻市自治推進委員会での状況をお伝えする。当委員会では原案のとおり賛成としたが、各施策の推進に当たっては、委員会から出された意見を参考にしてほしいと意見を付した。その後、意見に対する市の考え方が示されたことや、県外からの来訪者の童話村のライトアップについての感想などを通じ、これまで自分たちが知らなかった花巻市の取組について考えさせられ、住民として大切にしていきたいと感じた。

【似内利正委員】第3期中期プランの策定に賛意を示したい。地域協議会等からの意見に対してよく検討し、丁寧に回答していると思う。本審議会の意見についても吟味していただきたい。また、施策の推進に当たっては、PDCAサイクルを機能させ、広報はなまきを中心とした市民目線での情報発信にしっかり取り組んでいただきたい。市民目線の意味では、用語解説はありがたいと感じる。コロナ禍にあって、花巻市では日々コロナ対応のための様々な協議等を実施しているようであり、心強さを感じる。

【中村良則会長】第3期中期プランの策定の諮問に対する答申について、付帯意見とすべきご意見があればいただきたい。ご意見がなければ、第3期中期プラン（案）に対しては賛成としてよろしいか。各委員より出された意見についてはどれも重要であり、市には施策を進める上での参考としていただく。

【佐々木史昭氏（高橋豊委員の代理）】本審議会で出された意見がどのように第3期中期プランに反映されるのか。意見を反映させたものを示していただけるのか。

【中島健次委員】再度このような審議会を開く必要はなく、答申については会長一任とした上で、市として意見を検討して、第3期中期プランの内容を追加、修正した場合は市から委員へお知らせすることでよいのではないか。

（久保田総合政策部長）本日いただいたご意見の中で、第3期中期プランの各施策に反映する必要があるものについて、答申に付していただきたい。ご意見については、施策を進める中で参考とさせていただきます。

ご意見に対する検討結果や第3期中期プランへの反映状況については、例えば資料No.3の一覧のようなかたちで、後日委員へお知らせしたいと考えている。

【佐々木史昭氏（高橋豊委員の代理）】形式はお任せする。修正した部分を朱書きとしたものをデータで送るだけでも良いと考える。

【中村良則会長】付帯意見の内容については私に一任していただき、審議会の答申とすることでよろしいか。

《各委員「異議なし」との返事》

【中村良則会長】異議がないようですので、私と事務局で調整し、後日、答申を行います。

す。それでは以上で議事を終了します。委員の皆さま、ありがとうございました。

(5) 閉会

【赤坂秘書政策課長補佐】委員の皆さま、長時間にわたり、ありがとうございました。これもちまして、令和2年度第1回花巻市総合計画審議会を終了いたします。本日は誠にありがとうございました。